



がん検診に行っていますか？



国が推奨するがん検診の種類

厚生労働省では、がん検診の指針を定め、市区町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進しています。

	検査項目	対象年齢	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査、または胃内視鏡検査	50歳以上 * 当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上にのみ実施可	2年に1回 * 当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診、内診	30歳以上 * 市区町村で実施する検査項目をご確認ください。	2年に1回 5年に1回 * 罹患リスクが高い者については1年後に受診
肺がん	問診（問診）、胸部エックス線検査、喀痰細胞診	40歳以上 * 喀痰細胞診については原則として50歳以上の重症煙草者（喫煙指数600以上の者）のみ	年1回
乳がん	問診（問診）、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）* 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診、便潜血検査	40歳以上	年1回

受診方法

お住まいの市区町村では、健康増進法に基づいて、がん検診を実施しています。ほとんどの市区町村では、がん検診の費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担でがん検診を受けることができます。

なお、おつとめの職場や、加入する健康保険組合等でもがん検診を実施している場合がありますので、ご確認ください。

住民検診

市区町村

対象者にがん検診の受診を勧めています



職域検診

事業者・保険者

対象者にがん検診の受診を勧めています
定期健康診断や特定健康診査等にごがん検診が付与されている場合もあります



その他のがん検診 (人間ドック)

個人

自分で医療機関を探して受診



がん検診の利益

胃がん

大腸がん

乳がん

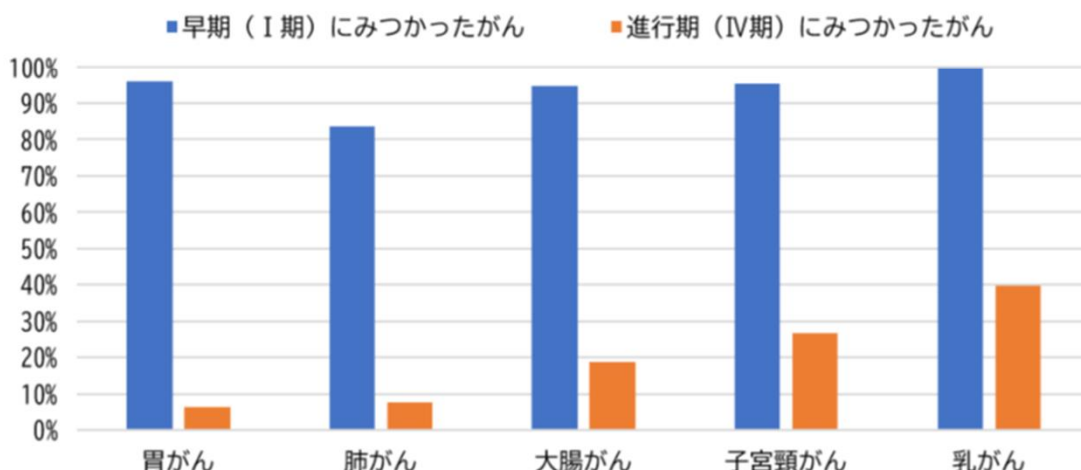
子宮頸がん

は90%以上

肺がん

は80%以上が治ります。

検診がん種別の病期別5年相対生存率（※2014年診断症例）



10月は「骨髄バンク推進月間」です

〈登録できる方〉

- ・骨髄等の提供内容を十分に理解している方
- ・18歳から54歳の健康な方
(実際に提供できる年齢は20歳から55歳)
- ・体重が男性45kg以上、女性40kg以上の方

登録にかかる時間は約20分
登録に費用はかかりません
約2mlの血液を採取するだけ

県内保健所で登録ができます。

予約が必要です。

お電話ください。

TEL：0749-21-0283



あなたにしか救えない
命があります。



ドナー登録は18歳から54歳まで
骨髄バンクのドナー登録にご協力ください

日本骨髄バンク

TEL.03-5280-1789 骨髄バンク 検索

☞ドナー休暇制度があります☞

2026年8月末時点で**959社**が「骨髄バンクドナー休暇制度」を導入していることを日本骨髄バンクが確認をしています。

ドナーが少しでも協力しやすい環境を提供するため、導入がまだの企業はぜひ勤務先に特別休暇として認めていただく

「骨髄バンクドナー休暇制度」の導入を検討ください。

ドナー登録の流れについては、こちらから
➡



11月は「感染症を考える月間」です

冬は感染症が流行しやすい時期となります

～インフルエンザが流行期入りしました～

滋賀県では、令和8年9月3日にインフルエンザが流行期入りしました。手洗い、うがいなど感染対策を徹底しましょう。

～結核健診を受けましょう～

結核は過去の病気ではありません。
滋賀県では毎年**約90人**が結核の診断を受けています。
咳・痰や体調不良が2週間以上続いたら医療機関を受診しましょう。また、1年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

感染症対策について動画で説明しています
ぜひご覧ください



いつまでも健やかに過ごすために、定期的ながん検診と毎日の感染症予防を心がけましょう。

元氣元氣レター 発行：滋賀県湖東健康福祉事務所